



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 児玉化学工業株式会社

コード番号 4222 URL <http://kodama-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 健

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 齊木 均

TEL 03-3279-4900

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,538	23.8	164	△22.6	149	△10.0	17	△73.1
25年3月期第2四半期	9,323	14.3	213	477.2	165	—	66	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 311百万円 (68.5%) 25年3月期第2四半期 185百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.60	—
25年3月期第2四半期	2.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	19,750	2,552	10.0	65.85
25年3月期	18,319	2,250	9.5	57.85

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,969百万円 25年3月期 1,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.0	500	△0.7	420	△8.7	200	△1.4	6.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日(平成25年11月12日)公表いたしました「平成26年3月期第2四半期累計期間における実績値と業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	30,154,411 株	25年3月期	30,154,411 株
26年3月期2Q	251,971 株	25年3月期	227,471 株
26年3月期2Q	29,907,281 株	25年3月期2Q	29,982,364 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
4. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和等の各種政策により景況感は緩やかな改善傾向を示しつつありますが、新興国経済の減速や米国の財政問題等の影響により、依然として先行き不透明な環境が続いております。

当社グループにおきましても、国内に於いては景気の刺激策により自動車産業は好調に推移するとともに、復興需要に係る住宅着工件数も徐々に増加し回復傾向を示しております。又海外ではアジア地域の好調な需要が継続しましたが、タイにおきましては、当第2四半期の後半において経済の減速感の傾向が見られました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,538百万円(前年同四半期比23.8%増)と増収となりました。

利益面では、引き続き経営資源の集中化並びに徹底したコスト削減を行ってまいりましたが、原材料のコスト高等の影響が大きく営業利益は164百万円(前年同四半期比22.6%減)、経常利益は149百万円(前年同四半期比10.0%減)、四半期純利益は17百万円(前年同四半期比73.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

従来、報告セグメントとして表示しておりました「産業機器事業」については、前連結会計期間にダイの販売及びリワーク事業の事業譲渡を行ったことにより量的な重要性が減少したため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて算定しております。

① 自動車部品事業

当事業におきましては、国内では景気の刺激策により自動車産業が好調を維持し当社の売上高も順調に推移しました。タイの連結子会社では、ASEAN地域の好調な需要に支えられて売上高は増収となりました。

この結果、売上高は6,888百万円(前年同四半期比29.8%増)、セグメント利益は377百万円(前年同半期比61.7%増)となりました。

② 住宅設備・冷機部品事業

住宅設備事業におきましては、新設住宅及び住宅改修需要は増加しており、今後も2014年度の消費税率引き上げ前の需要等が下支えとなり、本年の新築住宅着工見込数は昨年を上回る環境下にあります。一方、一方で原材料価格の上昇が転嫁出来ず、又新製品立上げ費用が発生した事により減益となりました。引き続きマーケットに対応した合理化を継続的に実施しております。

冷機部品事業では、特にタイの連結子会社におけるタイ洪水の被害を受けた顧客からの受注減少は未だ回復が遅れておりますが、新規顧客の獲得等により、堅調に推移しております。

この結果、売上高は3,858百万円(前年同四半期比10.8%増)、セグメント利益は232百万円(前年同四半期比17.9%減)となりました。

③ エンターテイメント事業

当事業におきましては、需要の回復からエンターテイメント関係等の売上高が増加いたしました。が、原料価格の上昇もあり若干の減益となりました。

この結果、売上高は526百万円（前年同四半期比162.7%増）、セグメント損失は67百万円（前年同四半期はセグメント損失44百万円）となりました。

④ その他

その他事業におきましては、「産業機器事業」の譲渡の影響により売上高が減少いたしました。

この結果、売上高は265百万円（前年同四半期比20.0%減）、セグメント損失は15百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,430百万円の増加となりました。

資産では、流動資産が売上債権等の増加等により938百万円増加し、固定資産が機械装置及び運搬具の増加等で492百万円増加しました。

負債では、流動負債が短期借入金の増加等により1,411百万円増加し、固定負債が長期借入金の減少等により283百万円減少しました。

純資産では、為替換算調整勘定の増加等により301百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ1百万円減少し、1,079百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は393百万円（前年同四半期は997百万円の資金の減少）となりました。これは主に、仕入債務の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は316百万円（前年同四半期は650百万円の資金の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は215百万円（前年同四半期は1,258百万円の資金の増加）となりました。これは主に、長期借入の返済による支出等があったものの、短期借入金の増加や長期借入れによる収入等あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表いたしました当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績に差異が発生したため、業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年11月12日）公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間における実績値と業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社は、商品、原材料及び貯蔵品を最終仕入原価法による原価法としておりましたが、当連結会計年度より総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更は、当社のたな卸資産管理強化の一環として、たな卸資産評価方法の統一を図り、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことを目的としております。

当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、建物を除き減価償却方法として定率法を採用しておりましたが、当連結会計年度より定額法に変更しております。

この変更は、定額法を採用している海外子会社の重要性が増し、国内外のコスト管理レベルを統一する必要性を背景に、固定資産を長期安定的に使用していく見通しであるという点を考慮した結果、減価償却費を均等配分することが適切であると判断したためです。

なお、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19,788千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	742,040	1,079,592
受取手形及び売掛金	5,893,030	6,115,571
商品及び製品	533,446	652,036
仕掛品	265,183	278,620
原材料及び貯蔵品	1,071,038	1,209,466
その他	608,390	718,450
貸倒引当金	△26,142	△28,643
流動資産合計	9,086,987	10,025,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,052,658	5,224,216
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,403,597	△2,517,219
建物及び構築物(純額)	2,649,061	2,706,996
機械装置及び運搬具	6,611,296	7,141,348
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,845,488	△5,112,161
機械装置及び運搬具(純額)	1,765,808	2,029,187
土地	2,866,536	2,929,709
その他	2,334,451	2,541,728
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,392,523	△1,527,022
その他(純額)	941,928	1,014,706
有形固定資産合計	8,223,334	8,680,599
無形固定資産		
その他	192,108	200,097
無形固定資産合計	192,108	200,097
投資その他の資産		
その他	1,009,626	1,032,182
貸倒引当金	△192,409	△187,541
投資その他の資産合計	817,217	844,640
固定資産合計	9,232,660	9,725,338
資産合計	18,319,647	19,750,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,446,284	4,751,370
短期借入金	4,654,505	5,641,191
未払法人税等	65,492	62,492
賞与引当金	233	122,088
その他	1,222,019	1,223,244
流動負債合計	10,388,534	11,800,386
固定負債		
長期借入金	5,031,904	4,750,116
退職給付引当金	264,127	247,678
役員退職慰労引当金	40,550	42,080
環境対策引当金	5,649	5,649
関係会社整理損失引当金	55,000	55,000
その他	283,095	296,750
固定負債合計	5,680,326	5,397,275
負債合計	16,068,860	17,197,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,021,032	3,021,032
資本剰余金	1,017,451	1,017,451
利益剰余金	△2,097,982	△2,080,140
自己株式	△21,259	△23,638
株主資本合計	1,919,242	1,934,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,884	13,016
為替換算調整勘定	△176,090	21,320
その他の包括利益累計額合計	△187,974	34,336
少数株主持分	519,519	583,728
純資産合計	2,250,786	2,552,770
負債純資産合計	18,319,647	19,750,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,323,549	11,538,900
売上原価	8,130,467	10,156,584
売上総利益	1,193,081	1,382,315
販売費及び一般管理費	980,067	1,217,434
営業利益	213,013	164,880
営業外収益		
受取利息	2,428	4,633
受取配当金	2,215	1,855
為替差益	11,405	56,663
助成金収入	31,135	29,351
貸倒引当金戻入額	29,747	4,553
その他	11,449	55,640
営業外収益合計	88,382	152,698
営業外費用		
支払利息	122,590	134,657
支払手数料	10,286	7,570
その他	2,523	25,948
営業外費用合計	135,400	168,175
経常利益	165,995	149,404
特別利益		
固定資産売却益	2,436	—
特別利益合計	2,436	—
特別損失		
固定資産除却損	8,069	—
特別損失合計	8,069	—
税金等調整前四半期純利益	160,361	149,404
法人税、住民税及び事業税	41,621	52,015
法人税等調整額	10,238	26,174
法人税等合計	51,859	78,190
少数株主損益調整前四半期純利益	108,502	71,213
少数株主利益	42,098	53,371
四半期純利益	66,404	17,842

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,502	71,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,692	24,901
繰延ヘッジ損益	7,562	—
為替換算調整勘定	24,439	215,815
持分変動差額	62,315	—
その他の包括利益合計	76,625	240,716
四半期包括利益	185,128	311,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,019	240,153
少数株主に係る四半期包括利益	43,108	71,776

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	160,361	149,404
減価償却費	383,488	413,791
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	17,132	△24,347
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△29,451	△4,549
賞与引当金の増減額（△は減少）	46,882	121,826
関係会社整理損失引当金の増減額（△は減少）	△2,556	—
受取利息及び受取配当金	△4,644	△6,489
支払利息	122,590	134,657
為替差損益（△は益）	△2,248	△7,687
固定資産除売却損益（△は益）	1,393	△1,887
売上債権の増減額（△は増加）	△1,522,420	3,633
たな卸資産の増減額（△は増加）	△181,491	△235,758
仕入債務の増減額（△は減少）	245,174	194,306
その他	△105,268	△127,550
小計	△871,055	609,347
利息及び配当金の受取額	4,652	6,489
利息の支払額	△121,893	△153,202
法人税等の支払額	△8,817	△69,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	△997,113	393,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	39,436
有形固定資産の取得による支出	△250,830	△415,753
有形固定資産の売却による収入	26,124	83,498
無形固定資産の取得による支出	△9,078	△13,198
関係会社株式の取得による支出	△389,320	—
貸付けによる支出	△30,000	△28,108
貸付金の回収による収入	3,372	17,273
その他	△333	285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△650,065	△316,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,270,195	561,881
長期借入れによる収入	599,342	300,000
長期借入金の返済による支出	△481,947	△476,413
自己株式の取得による支出	△211	△2,379
少数株主への配当金の支払額	△46,224	△50,436
リース債務の返済による支出	△82,179	△116,875
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,258,975	215,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,358	82,367
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△372,845	375,171
現金及び現金同等物の期首残高	1,453,883	704,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,081,037	1,079,592

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	自動車部品事業	住宅設備・冷機部品事業	エンターテイメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,308,076	3,483,206	200,563	8,991,846	331,702	9,323,549
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,655	500,474	680	518,810	47	518,857
計	5,325,732	3,983,680	201,243	9,510,656	331,750	9,842,407
セグメント利益又は損失(△)	233,295	283,389	△44,335	472,349	△22,065	450,284

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	472,349
「その他」の区分の利益	△22,065
セグメント間取引消去	△18,545
全社費用(注)	△274,352
未実現損益調整額	7,898
その他の調整額	△4,923
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	160,361

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	自動車部品 事業	住宅設備・ 冷機部品事業	エンターテイ メント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,888,490	3,858,105	526,789	11,273,385	265,515	11,538,900
セグメント間の内部売 上高又は振替高	26,609	197,470	—	224,080	—	224,080
計	6,915,099	4,055,576	526,789	11,497,465	265,515	11,762,980
セグメント利益又は損失 (△)	377,295	232,585	△67,797	542,083	△15,487	526,595

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	542,083
「その他」の区分の利益	△15,487
セグメント間取引消去	△62,898
全社費用(注)	△324,757
未実現損益調整額	6,057
その他の調整額	4,407
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	149,404

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして表示しておりました「産業機器事業」については、前連結会計年度にダイの販売及びリワーク事業の事業譲渡を行ったことにより、量的な重要性が減少したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(有形固定資産の減価償却費の変更)

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社は、建物を除き減価償却方法として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、第2四半期連結累計期間のセグメント利益がそれぞれ、「自動車部品」で13,336千円、「住宅設備・冷機部品事業」で4,411千円増加し、セグメント損失が、「エンターテイメント事業」で1,882千円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。